

看護学科

科目名: リハビリテーション論		担当教員 氏名: 小山 祐見子、岡田 有由 金岡 さち子							
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考				
1	2年次 後期	専門基礎科目	講義	選択					
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: それぞれの専門士として実務する経験から、看護への期待・連携のあり方について教授する。									
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード				
言語聴覚士、作業療法士の立場から言語療法の考え方、その実際の看護への期待、連携のあり方について説明する。作業療法士の立場から言語療法の考え方、その実際の看護への期待、連携のあり方について紹介する。リハビリテーションの概念。リハビリテーション医療と理学療法士の取り組み、実務経験に基づく主要疾患のリハビリテーション制度の現状と課題。看護師に望みたいこと等を説明し理解を深めてもらう。					リハビリテーション 言語療法 作業療法 理学療法 脳血管疾患・高次脳機能障害・廃用症候群				
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8					
A 知識・理解力		リハビリテーションの概念と医療の流れについて理解を深める。 言語療法、作業療法、理学療法の理論と実際について理解を深める。							
C 論理的思考力		リハビリテーション医療における看護の役割について自分の考えを表現できる。							
F チームワーク・リーダーシップ		リハビリテーションにかかわる人々にふれ連携のあり方について考える。							
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	%	発表:	%	実技試験:	%	その他:	%
特記事項: 各担当講師により、評価法が異なる。 【小山】テスト80% その他20%(出欠状況・授業態度により加点) 【岡田】テスト100% 【金岡】テスト100%									
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 【小山、岡田】・別に定めた日時に実施する。 【金岡】・1回目の講義の前にテーマに関する資料<テキスト>を配布する。・1~3回の講義終了後に出席カードの提出を求める。・別に定めた日時にテストを実施する。									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 【小山】試験用紙に結果とコメントを記載して返却します。 【岡田】試験にコメントを記載することでフィードバックとします。 【金岡】試験において60%以上の点数の者は、誤った箇所を自分で調べ再提出する。それ以下の者は、理解できていない箇所を聞き取り、説明し、レポート提出にて確認する。									
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)						
			学習内容	学習に必要な時間(分)					
①【小山】言語療法の実際			【予習】言語療法について調べておく 【復習】講義内容の復習	60分					
②【小山】言語療法の実際			【復習】講義内容の復習	60分					
③【岡田】作業療法とはについて学ぶ、作業療法の目的と対象、作業療法の実際についてナースとのかかわり			【予習】言語療法について調べておく 【予習】前回の復習を行い、自分の考えをまとめておく	60分					
④【岡田】作業療法の実際について学ぶ、まとめ			【復習】講義内容の復習	60分					
⑤【金岡】リハビリテーションの概念、障害の捉え方と援助活動<W.H.Oの概念>など			【予習】前回の復習を行い、自分の考えをまとめておく 【復習】講義内容の復習	60分					
⑥【金岡】リハビリテーション医療のながれと理学療法の進め方<理学療法> ※実習室で関節の動き方等を学習する為、動きやすい服装をお願いします			【復習】講義内容の復習	60分					
⑦【金岡】リハビリテーション医療の現状と課題、看護師に望むこと			【復習】講義内容の復習	60分					
⑧【金岡】まとめ、意見交換			【復習】講義内容の復習	60分					
使用テキスト: 必要に応じて資料を配布します			その他参考文献など: 「理学療法概論テキスト」南江堂 「地域リハビリテーション論」三輪書店 『作業』って何だろう」医歯薬出版						
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): テキストは指定しませんが、各自「リハビリテーション医療」について予備知識があれば、話を深められると思います。									